

河川事業の妥当投資額に関する住民アンケート

福山工事事務所 賛助会員 ○加藤 博生
福山工事事務所 正会員 松本 秀應

1. はじめに

公共事業に対するコスト意識の高まりを背景として、事業を実施することによるさまざまな効果を一般市民にたずねることで、環境の価値を金額で評価する取り組みが始まっている。

本アンケート調査では、芦田川の中流域に位置する府中市土生地区に、府中市の実施した「POM・こどもの国」と一体となる堤内地から堤防、護岸、水面へと連続的に利用可能となる親しめる水辺（水面）を形成し、カヌー、ボートなどの水辺利用を促

進し、既往事業と連携した魅力ある空間を形成するために、護岸並びに河道掘削を実施することに対する地域住民の人々が感じる利用価値をCVM（仮想評価法）で評価してみた。



2. 芦田川河川利用に関するアンケート内容

質問1 カヌー、ヨットの使用料として、1回当たりいくら支払っていただけますか。

質問2 初心者などのためにインストラクターの指導があるとしたら、指導料として1回当たりいくら支払っていただけますか。

質問3 この際の1回当たりとは、何時間何分ほどが適切でしょうか。

質問4 この様な施設が、あなたの家からどのくらいの距離にあれば利用されますか。距離又は所要時間で記入して下さい。

質問5 あなたは、この様な施設があればどの程度の頻度で利用されますか。それとも利用されませんか。

3. アンケート結果（男性53人、女性63人）

2. のアンケートより、利用可能限界距離の中央値は14kmであり、支障なく来てもらえる距離としてこの1/2（約7.0km）内の人口を抽出した。

また、利用者は老人、子供を除き、また河川利用者が男性であると考え、15歳～64歳の男性人口により利用者を算出し、利用頻度・使用料については、それぞれ中央値3回/年、1回/60分×10円/分で算出、なおインストラクター指導料金は、初回1回と考えられるため考慮していない。

- ・府中市 13,778人（28,705人×0.48）男女比率
 - ・新市町 7,108人（14,808人×0.48）男女比率
 - 合 計 20,886人×1/2=10,443艇（親子2人で1艇の利用を想定）
- 近隣に類似の八田原グリーンパークがあり、利用者が二分すると考えると、
 $10,443 \text{ 艇} \times 1/2 = 5,222 \text{ 艇} \approx \underline{5,200 \text{ 艇}}$

年当たり便益は

$$B = 5,200 \text{ 艇} \times 3 \text{ 回/年} \times 600 \text{ 円/艇} = 936 \text{ 万円/年}$$

年費用は、整備のための事業執行に伴い生じる利子分（年4.5%）と減価償却費（償却年：50年、定額償却）の和から求める。

- 建設総事業費 8,800万円
- 年費用 $c = 8,800 \text{ 万円} \times 0.0506 = 445 \text{ 万円}$
- 年間維持管理費 $M = 8,800 \text{ 万円} \times 0.005 = 44 \text{ 万円}$

費用効果

(B) 事業効果	936.0万円/年
(c) 建設費	445.3万円/年
(M) 維持管理費	44.0万円/年
((B-M)/c) 費用対効果	2.003

4. おわりに

完成予想パース

今回のアンケート調査では、水面利用に限定し、「あなたはいくら支払うか」とたずねることで、具体的な回答が得られた。

しかし、自らが利用しているごくありふれた自然環境がどれほど重要なのか、そしてどれほどの価値を持っているのか

を評価するのは極めて困難であり、今後の課題と考えられる。

